

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	留学生短期受入れと日本人学生の海外派遣を一体とした交流事業		担当部局庁	高等教育局	作成責任者	学生・留学生課 渡辺 正実		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度・平成25年度		担当課室	学生・留学生課 留学生交流室				
会計区分	一般会計		政策・施策名	豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進 14-1 国際交流の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定) 「第2期教育振興基本計画」(平成25年6月14日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の高等教育機関が諸外国(地域)の高等教育機関と学生交流に関する協定等を締結し、それに基づき、学生の派遣、受入れを行う場合に、当該学生を支援することにより、留学生交流の一層の拡充を図り、我が国と諸外国(地域)との相互理解と友好親善を増進するとともに、我が国の高等教育機関の国際化・国際競争力強化に資することを目的とする。 また、あわせて、諸外国(地域)の高等教育機関へ留学する日本人学生等に対し、教育研究活動に必要な経費を支援することにより、国際的にも指導的立場で活躍できる優秀な人材の育成及び我が国の国際化・国際競争力強化に資することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(1)留学生派遣(長期):日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者で、「修士」または「博士」の学位取得を目指し留学(1年以上)する者 (2)留学生派遣(短期):日本の高等教育機関に在籍しながら、大学間交流協定等に基づき諸外国(地域)の大学等に短期留学(3ヶ月未満、3ヶ月以上1年未満)する者(大学院生、学部生、短期大学生、高等専門学校(第4年次以上)、専修学校(専門課程)) (3)留学生受入(短期):諸外国(地域)の大学等に在籍しながら、大学間交流協定等に基づき我が国へ短期留学(3ヶ月未満、3ヶ月以上1年未満)する者(大学院生、学部生、短期大学生、高等専門学校(第4年次以上)、専修学校(専門課程)) に対し、(独)日本学生支援機構を通じ、(1)奨学金及び授業料、(2)、(3)奨学金を支援する。【補助率:定額補助】							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	2,400	4,372	5,322	5,225	0	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	1,192	-	-	-	-	
		計	3,592	4,372	5,322	5,225	0	
	執行額		3,592	4,372	5,322			
執行率(%)		100.0%	100.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	優れた外国人学生の受入れ、日本人学生の派遣により、大学の国際化・国際競争力の強化や将来を担う人材の育成等に資するものであり、定量的な成果目標の設定は困難であるが、その目標達成のため支援数等の拡大を図っている。 なお、定性的な成果指標の設定については、今後、現在行っているフォローアップの結果や有識者等の意見を参考にしつつ、適切な方法について検討を進める。		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	受入れ留学生数(短期)		活動実績 (当初見込み)	人	2,332	3ヶ月未満: 3,982 3月以上1年未満: 2,888	3ヶ月未満: 6,300(確認中) 3月以上1年未満: 1,440(確認中)	- (5,000)
	日本人学生の派遣者数		活動実績 (当初見込み)	人	(短期)1,231 (長期)新規:38 継続:52	(短期(3ヶ月未満)) 14,409 (長期)新規:27 継続:78	(短期(3ヶ月未満)) 6,300(確認中) (短期)2,280(確認中) (長期)新規:72 継続:88	- (短期)10,000 (長期)200
単位当たりコスト	323(千円/人)		算出根拠	単位当たりコスト =H24年度執行額(5,321,809千円)÷受入れ留学生数・日本人学生の派遣者数(16,480人:確認中)				
平成25・26年度 予算内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	留学生交流支援事業費補助金		5,225百万円	-				
	計		5,225百万円	-				

事業所管部局による点検						
	項目	評価	評価に関する説明			
国 必 要 投 入 の 費	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	本事業は、「日本再興戦略(H25. 6)」や、「第2期教育振興基本計画(H25. 6)」を踏まえ、学生の双方向交流を支援するものであり、国が積極的に実施すべき事業である。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	また、学生の双方向交流の推進については、「日米文化交流会議(カルコン)」においてもその重要性が議論されており、優先度の高い事業である。			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	—				
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	本事業は、国として責任をもって直接的・具体的な政策誘導、支援を行うため補助金として実施している。また、(独)日本学生支援機構(以下「機構」という)が、留学生交流についてのノウハウや、留学生支援等に關する豊富な実績を有していることから、機構に対する文部科学省補助金として予算措置している。 本事業にかかる資金は、機構が実施している私費外国人留学生生活実態調査結果等を参考とし、留学に必要な経費の一部を奨学金等として学生個人に支出するものであり、真に必要な経費に限定している。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○				
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—				
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	日本人の海外留学が減少傾向にある中、大学間交流協定等に基づく海外留学は増加しており、大学間交流協定等に基づく学生の派遣を支援する本事業の有効性は高い。 また、活動実績については、概ね見込みどおりの派遣・受入れが行われている。 現在、我が国の留学生全体の割合については、アジアからの留学生が9割を超え、また、日本人の留学先も北米・アジアが中心となっている中、本事業においては、受入数が少ない国(欧米等)からの受入れ、派遣数の少ない国(欧州)への派遣を実施するなど、多様な国との双方向交流を支援している。 なお、事業年度ごとに機構から提出される実績報告書等において、補助金の使用状況等について確認を行うとともに、事業成果を測るため、平成25年度からフォローアップ体制を強化した。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○				
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—				
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業により、諸外国の大学に在籍する留学生が我が国の大学に短期留学を行うとともに、我が国の大学に在籍する学生が諸外国の大学への留学を実現しており、大学間交流協定等に基づく質の保証された学生交流が推進している。 ・平成25年度に、3ヶ月を境界とした事業区分を見直すなど、制度の改善を図っている。 ・日本人の海外留学者が減少傾向にあることから、平成25年度には、日本人の海外留学のための奨学金の拡充を行った。(短期派遣: 8,580人(H24)→10,000人(H25)) ・平成25年度の採用者より、学生の質をより担保する観点から、語学力や成績評価基準等について、選考基準を厳格化した。 ・これまで事業成果については、プログラムの実施報告や派遣学生からの留学報告などにより把握してきたところ、平成25年度には、機構に有識者から構成される委員会を置き、適切に事業成果等を測る体制を構築した。 ・経費の執行に関して、機構は、採択大学から提出される報告書等において、支出先・使途を把握している。文部科学省は、事業年度毎に機構から提出される実績報告書等において、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。 					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業 的 全 体 的 改 善 の 抜 本	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業評価の観点：本事業は、留学生交流事業に要する経費の日本学生支援機構に対する補助事業であり、公開プロセスの対象となった事業である。 2. 所見：本事業は、高等教育改革全体の方向を踏まえて、それぞれの事業の目的を明確にしながら対象者の選考方法や単位取得などのプログラム内容等、教育の質を向上させるために、より効果的な事業の在り方を検討すべきである。特に3ヶ月未満の短期受入・派遣事業については、各大学等がこれまで自主的に実施してきた学生交流事業との関係について整理するとともに経済的理由で参加が困難である学生等に支援対象を重点化するなどしっかりと見直しをすべきである。 					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
廃 止	本事業については、「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)に盛り込まれた「意欲と能力のある若者全員への留学機会の付与」実現のため見直し、「大学等の海外留学支援制度」において、留学生の経済的負担を軽減するための寄附促進、給付を含む官民が協力した新たな仕組みにおいて実施。					
備考						
<p>○文部科学省行政事業レビュー「公開プロセス」(平成24年度) レビューシート番号: 0196 事業名: 留学生短期受入れと日本人学生の海外派遣を一体とした交流事業 評価結果: 抜本的改善</p> <p>とりまとめコメント: 本事業については、「廃止」3名、「一部改善」3名との結果を踏まえ、「抜本的改善」という結論とし、以下の2点のコメントを付すこととする。</p> <p>① 高等教育改革全体の方向を踏まえて、それぞれの事業の目的を明確にしながら対象者の選考方法や単位取得などのプログラム内容等、教育の質を向上させるために、より効果的な事業の在り方を検討すべき。</p> <p>② 特に、3ヶ月未満の短期受入・派遣事業については、各大学等がこれまで自主的に実施してきた学生交流事業との関係について整理するとともに経済的理由で参加が困難である学生等に支援対象を重点化するなどしっかりと見直しをすべき。</p>						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0405	平成23年	0175	平成24年	0196

文部科学省
5,322百万円

(独)日本学生支援機構が行う我が国の高等教育機関へ留学する外国人留学生及び我が国から諸外国(地域)の高等教育機関へ留学する日本人学生等への支援事業に必要な経費を補助。

【補助】

A. (独)日本学生支援機構
5,322百万円

我が国の高等教育機関が、諸外国(地域)の高等教育機関と学生交流に関する協定等を締結し、それに基づき3か月未満及び3か月以上1年未満の期間、諸外国(地域)の高等教育機関から我が国へ短期留学する者及び我が国の高等教育機関から諸外国(地域)の高等教育機関に短期留学する者、並びに諸外国の大学で学位を取得するために1年以上の期間、我が国から長期留学する者を支援する。

【奨学金等】

【奨学金】

【奨学金】

B.学生(長期派遣)
(160名)
426百万円

〔奨学金等を受給。〕

C.学生(短期派遣)
(3か月未満)6,300名(確認中)
(3か月以上1年未満)2,280名(確認中)
2,678百万円

〔奨学金を受給。〕

D.学生(短期受入れ)
(3か月未満)6,300名(確認中)
(3か月以上1年未満)1,440名(確認中)
2,218百万円

〔奨学金を受給。〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(独)日本学生支援機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	奨学金	確認中			
事務費	授業料	確認中			
計		0	計		0
B.学生(長期派遣)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事務費	奨学金	確認中			
事務費	授業料	確認中			
計		0	計		0
C.学生(短期派遣)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	奨学金	確認中			
計		0	計		0
D.学生(短期受入れ)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	奨学金	確認中			
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

※補助事業

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)日本学生支援機構	短期留学生、派遣留学生に対する奨学金等の支給	5,322	-	-

B.学生(長期派遣)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	学生A	奨学金等の援助	確認中	-	-
2	学生B	奨学金等の援助	確認中	-	-
3	学生C	奨学金等の援助	確認中	-	-
4	学生D	奨学金等の援助	確認中	-	-
5	学生E	奨学金等の援助	確認中	-	-
6	学生F	奨学金等の援助	確認中	-	-
7	学生G	奨学金等の援助	確認中	-	-
8	学生H	奨学金等の援助	確認中	-	-
9	学生I	奨学金等の援助	確認中	-	-
10	学生J	奨学金等の援助	確認中	-	-

C.学生(短期派遣)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	学生A	奨学金の援助	確認中	-	-
2	学生B	奨学金の援助	確認中	-	-
3	学生C	奨学金の援助	確認中	-	-
4	学生D	奨学金の援助	確認中	-	-
5	学生E	奨学金の援助	確認中	-	-
6	学生F	奨学金の援助	確認中	-	-
7	学生G	奨学金の援助	確認中	-	-
8	学生H	奨学金の援助	確認中	-	-
9	学生I	奨学金の援助	確認中	-	-
10	学生J	奨学金の援助	確認中	-	-

D.学生(短期受入れ)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	学生A	奨学金の援助	確認中	-	-
2	学生B	奨学金の援助	確認中	-	-
3	学生C	奨学金の援助	確認中	-	-
4	学生D	奨学金の援助	確認中	-	-
5	学生E	奨学金の援助	確認中	-	-
6	学生F	奨学金の援助	確認中	-	-
7	学生G	奨学金の援助	確認中	-	-
8	学生H	奨学金の援助	確認中	-	-
9	学生I	奨学金の援助	確認中	-	-
10	学生J	奨学金の援助	確認中	-	-